



ななほ 市民の友

第718号 毎月1回発行
2010年(平成22年)
11月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2010(平成22)年9月末現在	
総人口	318,108(2,104)
男女	153,473 (1,052)
	164,635 (1,052)
世帯数	135,893(1,269)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	95,598
真和志	104,481
首里	57,915
小祿	58,010

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 株池宮商会



廃材を使っておもちゃ作り(昨年度)



掘り出し物があるかも…フリーマーケット(昨年度)
※今年は10時～12時開催!



専門学生によるファッションショー(昨年度)

楽しんでいませんか エコライフ

2010那覇市環境フェア

11月14日(日)、「楽しんでいませうか エコライフ」をテーマに「2010那覇市環境フェア」をサンエー那覇メインプレイスのイベント広場と2階モール街で開催します。毎年11月に開催する環境フェアは今年で7回目。市民や事業者がエコ活動に取り組みきっかけとなるよう、環境について楽しく学べる「コーナー」やイベントを催します。

会場では、古着などを利用して新しく作り直した洋服を紹介する「リメイクファッションショー」をはじめ、出展団体の活動の発表やエコに関する製品の紹介など楽しいステージプログラムを準備しています。

また、地産地消を「コンセプト」にした「エコフードコーナー」や、親子で参加できる「エコ体験教室」、「動物ふれあいコーナー」、「花卉・野菜・パン販売コーナー」などのブースもありますよ!

他にも地球温暖化からペットのしつけなど幅広い環境問題への対応について「見て、触れて、食べて」エコを体験できる様々な「コーナー」が満載です。

イベント内容など詳しくは、市ホームページをご覧ください。那覇市環境フェア実行委員会事務局(環境政策課内) ☎951-3231へお問い合わせください。
※会場へお越しの際はモノレール、バス、タクシーなど公共交通機関をご利用ください。

主な紙面

- 11月はエコライフ推進月間です。環境にもお財布にもやさしいエコライフを始めよう
- 平成23年度市立幼稚園 および私立幼稚園募集
- 気づいてください!子供のサイン
- ストッパー児童虐待
- 情報PACK

協働さん いらっしやい!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第2回 「NPO法人 まちなか研究所わくわく」

お問い合わせ 市民協働推進課 ☎861-3846



「NPO法人まちなか研究所わくわく」 宮道喜一事務局長

第2回は、市の協働大使で、NPO法人まちなか研究所わくわく(以下「まちなか」といふ)事務局長の宮道喜一(みやじ きいち)さんです。「まちなか」の活動について、伺いました。

Q 活動の概要を教えてください。

「まちなか」は、すべての人々が、自ら暮らすまちを、想い、考え、納得してつくっていく市民社会の実現を目指しています。地域情報の発信や通り会等の地域組織サポートを行う「コミュニティ支援事業」や、参加の場づくりや運営・進行を行う「ファシリテーター派遣事業」や、協働によるまちづくりを推進する「NPO活動支援事業」の3つが活動の柱です。

Q 地域情報の発信とは? 年間1冊のペースで、地域情報誌「み〜きゆるきゆる」を刊行しています。

那覇の中心部であるマチグワ「桜坂」「久茂地」「開南」などエリアを限定して地域を掘り下げる情報誌です。

みんなで決めて みんながつくる



「み〜きゆるきゆる」6号まで発行。現在、7号「第一牧志公設市場」の編集が進行中です。※お問い合わせ NPO法人まちなか研究所わくわく ☎098-861-1469

「み〜きゆるきゆる」を読むと自分たちの暮らす足元には、多くの物語と魅力が詰まっていることに気づきます。色々な物語が積み重なって、まちの今があることを再認識するきっかけになるとうれいのです。

まちの「未来」を描くために、「過去」と、そこからつながる「今」を、そこに暮らす人々や関心を持つ人々と一緒に収集発信します。Q 情報誌で伝えたいことは? まちの履歴としての記録を残すことの意味は、そのまち独自の魅力や個性を見出す重要な資料になることにあります。一度失ったまちの記憶は、取り戻すために多大なエネルギーを要します。

自分たちが暮らすまちに、愛着と誇りを持つような取り組みを続けていきたいと思っています。